

宝島

作 スティーブソン

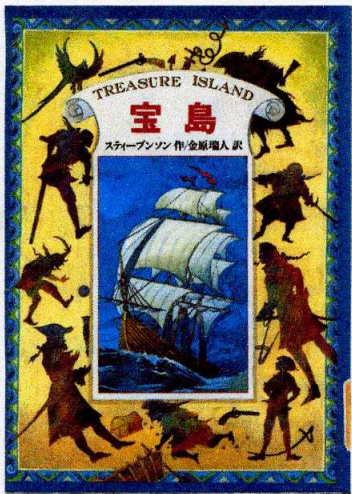
訳 金原 瑞人

この物語の主人公は、「ベンボー提督亭」という店に住んでいるジムという少年。

しかし、ある時店にビリーという船長を名乗る者がやってきました。その店に住みついてしまった。

そして、ビリーという船長が住みついてから、何日かたったころ、店に黒犬という男が現れた。

黒犬はビリーの昔のなじみらしく、二人はしばらく話し合っていたが途中でビリーが怒り出し、戦うようになってしまった。黒犬は逃げていたが、船長は次の日、病気で死んでしまった。黒犬とかいうやつらは、ビリーが持っていたトランクを覗かっているようだった。ジムはトランクの鍵をあけて中にあった宝の地図を……



この物語は、絵が少なく、ページ数も多いですが、ハラハラドキドキする冒険物語で、とてもおもしろいので、ぜひ読んで下さい。